

# 「子ども・子育て支援事業計画」の中間年の見直し（案）

## 1 概要

平成27年3月に策定した「上田市子ども・子育て支援事業計画」は、国の基本指針において、計画年期間の中間年を目安として、必要な場合には計画の見直しを行うことになっているため、現在の状況（教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業の実績）などから、計画の見直しをするものです。

## 2 基本施策（第4章）の見直しについて

### （1）「現状と課題」「施策の内容」の見直し

第4章の基本施策については、「すべての子どもが笑顔でしあわせに暮らせるまち」を基本理念として、目指すべき基本目標に向けた基本施策を示したものであり、見直し対象とするものではありませんが、計画策定から2年が経過し社会情勢が変化する中で、現状と課題、施策の内容を補完する形で追加・修正しました。

#### 主な追加・修正点

#### 検討資料1

妊娠・出産期の支援

- ・「妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援」の追加

病児保育

- ・「病児保育センターでの保育の提供体制の充実」の追加

障がいのある子どもへの支援の充実

- ・「第1期障がい児福祉計画」の策定」による追加

子育てしやすい環境の整備

- ・「市営住宅等長寿命化計画の策定」による修正

ワーク・ライフ・バランスの推進

- ・「第4次男女共同参画基本計画の策定」による追加

## 3 教育・保育施設（第5章）の見直しについて

### （1）見直しの要否の基準

国の基本方針においては、「法の施行後、支給認定を受けた保護者の認定区分ごとの人数が、当該認定区分に係る量の見込みと大きくかい離している場合には、適切な基盤整備を行うため、計画の見直しが必要となる。」とされており、平成28年4月1日時点の支給認定ごとの子どもの実績値が、市町村計画における量の見込みよりも10%以上のかい離がある場合（実績値/量の見込み 90%、110% 実績値/量の見込みとなる場合）には、「大きくかい離している場合」に該当し、原則として見直しが必要となります。

また、10%以上のかい離がない場合についても、市町村の判断により、見直しを行うことは差し支えないとなっています。

## (2) 現在の状況

計画における見込みと平成28年度の実績値との比較では、10%以上のかい離は生じていません。

教育・保育施設における「量の見込み」と「実績値」

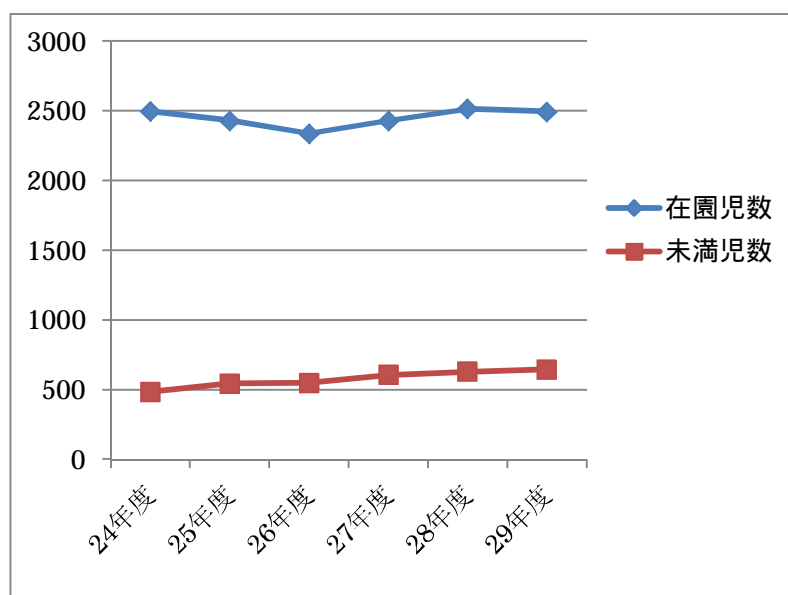
区分	量の見込み (平成28年度計画 値)	実績値 (平成28年度)	実績値 / 量の見込み
1号認定	1,212人	1,156人	95%
2号認定	2,788人	2,737人	98%
3号認定	1,239人	1,337人	108%

## (3) 本市を取り巻く社会的状況

国の施策として「女性が輝く社会」をつくることを最重要課題として、女性活躍加速のための重点方針が決定されました。また、上田市子ども・子育て支援事業計画において「すべての子どもが笑顔でしあわせに暮らせるまち」を基本理念として掲げ、基本目標として「ワーク・ライフ・バランスの推進」を定めています。

このような背景から、女性の労働環境の整備等により、出産後の女性の職場復帰が加速しているなど、特に3歳未満児の入所希望者が増えている状況にあります。

公立保育園における未満児の推移



(4) 「量の見込み」及び「確保の方策」の見直し 検討資料2

計画における見込みと実績値と10%以上のかい離はないものの、本市をとりまく社会状況から3歳児未満の入所希望者が増加し、3号認定において量の見込みを実績値が上回っていることから、計画値以上に0～2歳児の保育ニーズが高まっている想定ニーズに対応して「量の見込み」を上方修正します。あわせて企業主導型保育事業や地域型保育事業の参入が想定されるため、「確保の方策」も修正します。

それでもなお「量の見込み」に対して「確保の方策」が不足してしまうことから、保育士の確保や保育施設の整備を進め、確保対策を行ってきます。

区分		平成29年度見込	計画見直し	
			平成30年度	平成31年度
1号認定	量の見込み	1,205人	1,200人	1,200人
	確保の方策	1,156人	1,200人	1,200人
2号認定	量の見込み	2,770人	2,760人	2,761人
	確保の方策	2,737人	2,760人	2,761人
3号認定	量の見込み	1,276人	1,398人	1,424人
	確保の方策	1,337人	1,385人	1,390人

修正か所

4 地域こども・子育て支援事業(第6章)の見直しについて

(1) 現在の状況

養育支援訪問事業、子育て短期支援事業、ファミリー・サポート・センター事業、一時預かり事業、放課後児童健全育成事業で、実績値が量の見込みを上回っているほか、妊婦健康診査事業などいくつかの事業で、量の見込みと実績値にかい離がありますが、不足は発生していない状況です。

子ども・子育て支援事業における「量の見込み」と「実績値」

事業名	見込み (平成28年度計画)	実績値 (平成28年度)	差引 (実績値 - 量の見込み)
利用者支援事業	1か所	1か所	0か所
地域子育て支援拠点事業	92,849人	88,496人	4,353人
妊婦健康診査事業	18,424回	13,204回	5,220回
乳児家庭全戸訪問事業	1,258件	1,070件	188件
養育支援訪問事業	944回	1,265回	321回
子育て短期支援事業			
ショートステイ	23人	37人	14人
夜間支援	18人	0人	18人

ファミリー・サポート・センター事業	1,300 回	1,479 回	179 回
一時預かり事業			
ア 幼稚園	41,422 人	45,589 人	4,167 人
イ 幼稚園以外	8,912 人	6,868 人	2,044 人
延長保育・休日保育事業	33,883 人	31,415 人	2,468 人
病児・病後児保育事業	589 人	567 人	22 人
放課後児童健全育成事業	1,025 人	1,067 人	42 人

人口ビジョンによると、平成 27 から平成 32 年の 5 年間ににおける児童数は、0～4 歳で 9% 減、5～9 歳で 4% 減、10～14 歳で 12% 減と推計されています。 **検討資料 3**

人口ビジョン		平成 27 年	平成 32 年	増減率(5 年)	年増減率
	0～4 歳	6,309 人	5,749 人	-9%	-1.78%
5～9 歳	6,583 人	6,288 人	-4%	-0.90%	
10～14 歳	7,438 人	6,554 人	-12%	-2.38%	

(2) 子ども・子育て支援事業計画の「量の見込み」と「確保の方策」の見直し **検討資料 4**  
各事業で不足は発生していませんが、人口ビジョンによる児童推計等から各事業の実施状況に応じて見直しを行い、下記のとおり修正します。(修正事業のみ記載)

事業名	H29 見込み	計画見直し・量の見込み(確保の方策)	
		平成 30 年度	平成 31 年度
地域子育て支援拠点事業	89,558 人	90,837 人(90,837 人)	92,116 人(92,116 人)
妊婦健康診査事業	15,330 回	15,050 回(15,050 回)	14,770 回(14,770 回)
乳児家庭全戸訪問事業	1,063 件	1,044 件(1,044 件)	1,026 件(1,026 件)
養育支援訪問事業	1,050 回	1,038 回(1,038 回)	1,014 回(1,014 回)
子育て短期支援事業			
ショートステイ	30 人	25 人(25 人)	25 人(25 人)
夜間支援	0 人	8 人(8 人)	8 人(8 人)
一時預り事業			
ア 幼稚園	45,589 人	45,833 人(45,833 人)	46,029 人(46,029 人)
イ 幼稚園以外	6,868 人	8,621 人(8,621 人)	8,879 人(8,879 人)
病児・病後児保育事業	589 人	589 人(589 人)	767 人(767 人)
放課後児童健全育成事業	1,173 人	1,205 人(1,093 人)	1,230 人(1,230 人)